



三股町議会だより



↑
三股町議会ホームページ

みまた ぎかい

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

Vol. **114**

2024.2.15
三股町議会発行



PHOTO:おねっこ [写真提供] 中西 健太様

三股町議会 第5回(令和5年12月)定例会報告…P2~P4

一般会計補正予算

そこが聞きたい!!!…P5~P15

一般質問…10名

三股よかところ再発見…裏表紙

趣のある石蔵!!



花と緑と水のまち
宮崎県 三股町

第5回(令和5年12月)定例会報告

12月定例会を12月1日から12月15日までの15日間開催しました。今議会では、議案13議案、発議1件、報告2件が上程され審議されました。



一般会計補正予算 **5億7,699万1千円** 増額 賛成多数で

可決

- 低所得世帯給付金(令和5年度住民税非課税世帯等) 増額
- 人事院勧告に伴う人件費 増額
- 住基台帳システム改修等委託料 増額
- 障がい者自立支援給付費 増額
- 子ども医療費 増額
- 保育園等の施設型給付費 増額
- 企業立地促進事業補助金 増額
- 勝岡地区自然災害防止急傾斜地崩壊対策事業委託料 増額
- 長田小学校プール・体育館水道管布設工事 増額
- 学校ICT整備事業学習用タブレットパソコン購入 増額
- 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金 減額

主なもの

特別会計補正予算

全会一致で

可決

- 国民健康保険特別会計補正予算..... **233万2千円** 増額
・システム改修による委託料の増額
- 後期高齢者医療保険特別会計補正予算..... **17万4千円** 増額
・人事院勧告による人件費の増額
- 介護保険特別会計補正予算..... **368万円** 増額
・介護保険システム改修業務委託料の増額
- 公共下水道事業特別会計補正予算..... **47万3千円** 増額
・人事院勧告による人件費の増額
- 梶山地区農業集落排水事業特別会計補正予算..... **96万8千円** 減額
・人事異動による人件費の減額

条例改正等

全会一致で

可決

- **三股町国民健康保険税条例の一部を改正する条例**
国民健康保険被保険者の産前産後の一定期間の国民健康保険税を軽減するもので、その年度に納める保険税の所得割額と均等割額から、出産予定月の前月から出産予定月の翌々月相当分を減額するもの
- **一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例**
令和5年人事院勧告に伴う若年層に重点を置いた月例給の引上げと民間支給割合との均衡を図るための期末手当、勤勉手当の引き上げ、来年以降の手当調整のために条例の一部を改正するもの
- **町長等の給与に関する条例及び議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例**
令和5年人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定及び特別職の職員の給与に関する法律に準じた期末手当の引き上げ、来年以降の手当調整のために条例の一部を改正するもの
- **工事請負契約の変更について(令和5年度宮村小学校管理教室棟外壁改修工事)**
施工中に防水層の著しい劣化が新たに確認されたため、防水補修工事の追加が必要となり、請負契約の変更が必要となったため
- **国営造成施設管理体制整備促進事業「管理体制整備型」の事務の委託の廃止について**
三股町が都城市に委託している国営造成施設管理体制整備促進事業「管理体制整備型」の事務の委託を廃止するため
- **三股町議会ハラスメント根絶条例の一部を改正する条例**
ハラスメントの事実確認等を行う審査機関の名称を改めるなど所要の改正を行うもの

第5回(令和5年12月)定例会 採決結果

●は賛成 ●は反対 一は欠席 ※議長は可否同数の場合を除き、表決には加わりません。

議案番号	議案名	結	岩	中	上	西	田	堀	新	楠	堀	内	指	山
		果	津	原	西	村	中	(和)	坂	原	(義)	村	宿	中
第77号	令和5年度三股町一般会計補正予算(第7号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長	●

※上記以外の議案第65号～第76号、発議第3号については、全会一致のため未記載としております。
 ※議案第77号については、以下のとおり反対討論がありました(要点のみ)。
 ・今回の国からの臨時交付金は、物価高騰で苦しむ町民や事業所の為に新規事業として取り組むべき。一般財源から捻出するはずの給食費無償化等に使うのは目的が違うのではないか。

お知らせ

「議会だより」第113号(2023年11月15日発行)2ページの記事に誤りがありました。
【誤】令和4年度決算(一般会計)の歳入決算121億6,000万円⇒**【正】**歳出決算121億6,000万円
 皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。



各常任委員会が下記日程で行われました

「常任委員会」は議案などを詳しく審査するための機関です。議員はいずれかの委員会に所属しています。

実施日	委員会(審査議案数)
12月11日(月)・12日(火)	総務産業常任委員会(6議案)・文教厚生常任委員会(4議案)
12月13日(水)・14日(木)	一般会計予算・決算常任委員会(3議案)

一般会計予算・決算常任委員会での審査過程の議論を紹介します



Q 「重点支援地方交付金」を効果的に活用し、物価高騰から町民の生活を守り、経済の着実な回復を図るため具体的な取り組みを最大限に反映した対策を策定すべきではないか？

A 繰り越しも出来るので、残りは介護サービス施設などへの支援について検討していきます。



文教厚生常任委員会 現地視察報告

宮村小学校管理教室棟の外壁改修・防水工事の視察を行いました。

この工事は校舎の老朽化により、外壁が基礎部分から剥離し落下している箇所があったため、行われたものです。同時に校長室の床の張り替え、校舎階段の滑り止めの設置も行われました。

子どもたちの安全・安心のための環境整備は、町の最重要事項であると、改めて感じました。



宮村小学校外壁改修・防水工事



宮村小学校校長室の床の張り替え

総務産業常任委員会 現地視察報告

令和4年9月の台風14号で被害を受けた福留水路橋と上米公園南側斜面の復旧工事進捗状況視察を行いました。

水路橋の復旧工事の工期は令和6年3月19日となっていますが、被害の大きさを今でも感じることができます。次に、上米公園南側の復旧工事では、急こう配な斜面及びのり面の緑化に適したテンサー工法が採用されているという説明を受けました。

台風14号の被害の爪痕は、町内各地でまだ見られます。各地の復旧工事が一日も早く終わるように注視していきたいと思っています。



福留水路橋の復旧工事現場① 福留水路橋の復旧工事現場②



上米公園の復旧工事現場① 上米公園の復旧工事現場②

そこが聞きたい!

一般質問とは?

議員が町の事務の執行の状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。

傍聴者数
延べ**41**名
ありがとうございました。

三股町議会 第5回(令和5年12月)定例会 一般質問

質問者	通告された質問事項	頁
田中 光子	①重点支援地方交付金について ②独居高齢者支援について	6p
西村 尚彦	①三股町公共施設等総合管理計画(2017年度～2046年度)について	7p
上西 雅子	①不登校児童・生徒への支援について ②精神障がい者に対する「重度心身障害(児)者医療費助成制度」の対象拡大について ③町図書館の利用について	8p
堀内 義郎	①三股町DX推進基本計画について ②危機管理について ③給食費について ④国際交流について	9p
山中 則夫	①町政の諸課題の取組について	10p
内村 立吉	①教育現場での新聞活用について ②公用車の車検について ③第64回宮崎県畜産共進会(牛枝肉)について ④2022年度台風14号の被害状況について	11p
中原 美穂	①三股町民俗芸能について ②くいまーるについて	12p
岩津 良	①キャリア教育について	13p
新坂 哲雄	①県道33号線歩道計画について ②有害鳥獣駆除について ③町立図書館前の樹木について	14p
楠原 更三	①文化財について ②三股町景観条例にある重要物の指定について ③三股町樹木等の保存に関する条例・三股町環境緑化条例・三股町公園条例について	15p

6p～15pは一般質問のやりとりの中から、質問した「議員自らが抜粋した内容」を掲載しています



たなか みつこ
田中 光子議員



重点支援地方交付金の
使い方は

一般質問
「そこが聞きたい!」



総務課長



住民税非課税世帯に
7万円給付

重点支援地方交付金について

Q 低所得世帯支援枠について1世帯当たり7万円を追加する旨が盛り込まれたことを踏まえ、年内の予算化に向けて検討を進めていただけないでしょうか。

A 総務課長

昨年12月1日に先議していただき、承認を得たことから年内に住民税非課税世帯に7万円給付支援開始に向けて進めているところです。

Q 物価高騰から町民の生活を守り、経済の着実な回復を図るため具体的な取り組みを策定していただけないでしょうか。

A 町長

低所得世帯支援枠については、本議会に予算案を上程し、先議にて議決をいただいたところです。

Q エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けた事業者、医療・介護・保育施設、学校施設等に対する対策はどのように考えているのでしょうか。

A 企画商工課長

子育て支援として「中学校の学校給食費無償化」や、事業者支援として、すでに実施している「第6弾みまたん応援プレミアム付商品券発行事業」への財源として充当することを検討しています。また、県議会での補正予算の内容についても精査・検討し、提案することとしています。

独居高齢者支援について

Q 年々身体機能が衰えていく中、いつまで一人暮らしができるのか不安に感じる方もいると思いますが、独居高齢者の支援はどのように行われているのでしょうか。

A 高齢者支援課長

介護認定を受けている方は、ケアマネジャー等が支援しています。また、民生委員による訪問も行っています。

Q 一人暮らしで起こり得る様々な問題を深刻化させない為に、早期発見早期対応が重要となります。一人でも快適に暮らし続けるための対策は取っておられるのでしょうか。

A 高齢者支援課長

転倒防止や日常生活の利便性向上のために段差解消や手すりの設置などの特定高齢者等住宅改修事業を行っています。また、緊急通報システムの無償貸与を行っております。

Q 高齢者等福祉団体や組織と見守り支援ネットワーク事業に関する協定を結ばれてははいかがでしょうか。

A 町長

いろいろな安否確認システムがあるようですので、充分検討させていただきます。安否確認が重要ですので、介護事業所等とも話をさせていただこうと思っています。

A 企画商工課長

日本郵便株式会社との包括連携に関する協定書を締結し、「安心・安全な暮らしの実現に関すること」など5項目にわたり連携することとしました。

一般質問
「そこが聞きたい!」



町長



公共施設等総合管理
計画の趣旨は



にしむら なおひこ
西村 尚彦議員



公共施設の将来の課題整理

公共施設等総合管理計画について

Q 平成28年度に策定されたこの計画の趣旨はどのようなものですか？

A 町長

1960年代から1980年代にかけて、学校や町営住宅など集中的な整備が行われ、今後、老朽化が進み更新時期を迎えることが見込まれています。

将来の人口減少に伴う税収減や社会保障関係費の増大が見込まれるため、長期的な視点をもって、公共施設の現状や将来の課題を客観的に整理するために、この計画を策定したところです。

公共施設の現況と課題は

Q 現在の公共施設等（公共建築物、インフラ資産）の状況と課題をどのようにとらえていますか。

A 税務財政課長

公共建築物では、築30年以上経過した施設面積が63%となっており、今後、長寿命化や改修及び施設の用途廃止などが必要になると考えております。

また、インフラ資産については、公共下水道事業により増加しておりますが、それぞれの長寿命化計画により維持管理を行い経費の平準化を行っていきます。

老朽化の度合いにつきましては、有形固定資産減価償却率で見ますと、令和元年度の類似団体平均60.7%に対し、本町は68.5%となっており類似団体より老朽化が進んでいる状況です。

今後の取組方針は

Q 目標達成のために、具体的にどのような取り組み方針で行いますか。



税務財政課長

「保有量の最適化」、「長寿命化の推進」、「効率的な管理・有効活用」の方針を掲げ、「保有量の最適化」では、施設の更新にあたっては、他目的の公共施設や民間施設の活用等を視野にいたした統廃合を検討します。

「長寿命化の推進」では、施設の点検・診断の実施により、施設の事後保全から予防保全の転換を図り、長期間利用することにより更新費用の削減を図ります。

「効率的な管理・有効活用」では、*1PPP/*2PFIの導入などの民間活力の活用や広域連携などです。

(※1) PPP…官民の連携による公共サービスの提供手法

(※2) PFI…PPPの手法によって民間の資金、経営能力、技術的能力を活用して行う手法

庁内体制及び情報公開は

Q この計画を推進するための町内体制、また、町民の意見集約や周知・情報公開はどのように行っていくですか。

A 税務財政課長

計画推進については、税務財政課が取りまとめを所管しており、事務事業評価結果及び公共施設個別計画を基に予算編成を行っており、公共施設等の各所管課の全庁的な推進体制については、事務事業評価幹事会が担っている状況です。

施設の更新、統廃合等の意見集約や周知・情報公開につきましては、事業計画の際に、その地域、施設利用者などの御意見をいただきながら事業を計画してまいります。



かみにしまさこ
上西 雅子議員

Q 不登校児童生徒への支援は

一般質問
「そこが聞きたい!」



教育長

A 学校・行政・民間の連携で行う

不登校児の支援について

Q 町として、不登校児童生徒への支援はどのように行われているのでしょうか。

A 教育長

文科省からの通知内容では、「学校に登校する」事だけを目標とするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があるとされています。

また不登校の時期が、休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味もある一方、学業の遅れ等のリスクもあります。

町としては、毎月のサポート訪問等を行い、*1スクールソーシャルワーカーや、*2スクールサポーターと連携し支援を行っています。更に適応指導教室を開設し、所属学校と連携し学びの場を提供しています。

(※1) スクールソーシャルワーカー…問題を抱える児童・生徒を取り巻く環境へ働きかけたり、関係機関等との連携・調整を行う役割の人

(※2) スクールサポーター…警察署と学校・地域のパイプ役として、少年の非行防止や児童等の安全確保対策を行う役割の人

Q 令和5年10月に開校したフリースクール「ひる学校」の評価を伺えますか。

A 教育長

文科省からも「民間施設等の取り組みと積極的に連携を図っていく事が望ましい」と示されている事から、この施設は「子どもの居場所」としての選択肢が増えたと評価しています。

Q ひる学校に通う児童生徒に対して出席扱い等の評価をし、学校・行政・民間と連携して支援をしていく事が必要ではないでしょうか。

A 教育長

町作成のガイドラインに基づき、一定の要件を満たしていると判断され、また児童生徒の状況等を鑑み、校長の判断も踏まえながら考えていきたいと思えます。

Q ひる学校利用希望者のうち、経済的な事を理由に利用できない人に対して、行政の支援が必要ではないでしょうか。

A 福祉課長

今後、そこに通っている子どもの状況や運営の様子をみながら、必要に応じて支援などを検討していきたいと考えています。

「重度心身障害(児)者医療費助成」について

Q 「重度心身障害(児)者医療費助成制度」に、精神障害者が対象になっていない為、見直しが必要ではないでしょうか。

A 福祉課長

町単独での実施は難しいですが、今後県が実施する意見交換会の場で、対象拡大を要望していきたいと考えています。

図書館の利用について

Q 図書館を利用する際、パソコンやタブレットを使用する際の電源コンセントが無く、不便を感じているとの声を聞きます。環境整備が必要ではないでしょうか。

A 教育課長

閲覧スペースにある電源コンセントを試験的に4席開放し、利用状況等を検証していきたいと考えています。

一般質問
「そこが聞きたい!」



総務課長

Q 生成AI導入の取組みは



ほりうちよしろう
堀内 義郎議員

A 前進できるよう協議検討していく

DX(デジタル化)推進について

Q 業務の効率化を図るため、自治体によって*1生成AI・*2チャットGPTの導入が進んでいますが、本町としての取組みは。

A 総務課長

令和5年度に三股町DX推進本部内に、専門部会「DX研究会」を発足させ、3回協議を行いました。又、都城市が民間会社と共同開発したチャットGPTの試験運用に参加し、試行・検証を行いました。

ガイドラインの作成や費用の問題、利用業務と利用頻度の不透明性、職員のスキルアップ等の課題が多い事から、即実行との段階になく、課題解決に向けての具体的な協議が重要との認識に至っており、活用に向けて前進できるよう専門部会を中心として協議・検討を進めて参ります。

(※1) 生成AI…新しい情報や形態を生成する人工知能の一種

(※2) チャットGPT…人工知能を用いた自然言語処理の仕組み

Q 生成AIを学校教育で活用する予定はありますか。

A 教育長

文部科学省が「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」を示し、各学校にも通知しました。慎重な対応をとる事が必要な状況であり、すぐさま教育利用を進める予定はありません。しかしながら、児童生徒が学校外で使用する可能性は十分にあり、情報活用能力の育成について、生成AIの普及を念頭に一層充実させていきたいと考えています。

危機管理対応について

Q 今後の危機管理として、多発する台風や地震(南海トラフ巨大地震)などの自然災害や有事に備え対応するために、危機管理係に防災経験者を配置すべきではないでしょうか。

A 総務課長

本町の正規職員において、消防団経験者は現団員が33名、OBが36名の計69名が在籍しており、防災士の資格を取得した者は34名となっています。

総合的な防災意識の向上に繋げ、防災行政に携われる人材を育成してまいります。大規模災害の備えとして「三股町地域防災計画」に沿った組織的支援体制が構築され、BCP(業務の持続的計画)も策定されている事から、訓練・研修等を通じて防災業務のスキルアップに繋げていきたいと思えます。

今後の危機管理係の職員配置は、持続して消防団経験のある正規職員を「防災経験者」として位置付けし、行っていく考えです。

国際交流について

Q インバウンド(訪日外国人)の回復により、国際交流を進めるため台湾と友好都市の提携は考えられませんか。

A 企画商工課長

観光や教育、産業など、どの分野で交流が可能なのか、今後協議を重ねていきたいと考えています。



やま なかのり お
山中 則夫議員

Q 「PFI」方式を進めるのですか

一般質問
「そこが聞きたい!」



町長

A 「PFI」方式で進めます

三股町交流拠点施設整備事業について

Q 三股町交流拠点施設整備事業については、※1PFI方式を進めていくのですか。

A 町長

事業手法については、直営または指定管理ではなく、PFI方式で進めてまいります。

Q 町長は数年前、当時の議長と国土交通省に行かれましたね。その時にどういう話があったのですか。

A 町長

その時点では、まだ何も具体的な計画はなかったため、中心市街地をどう活性化すべきか、五本松住宅の跡地の問題をどう進めたいかなどの思いで、あいさつに行きました。

Q 暮らしに関わる他の事業を優先するべきではないですか。

A 町長

交流拠点整備は、町民の暮らし、つまり健康・福祉・文化・教育・子育てに係る事業であることから、より町民の生活向上、福祉の向上、そして町の賑わい、交流に貢献する事業であると考えています。

財政シミュレーションの結果、他の事業への影響は少ないものと考えています。

Q 五本松住宅跡地の事業については、都城市のやり方(旧大丸デパート跡地)ではいけないのですか。

A 企画商工課長

民間施設部分であるホテルやスーパーマーケットなどの複合施設「テラスタ」は、都城市が市有地を貸し付け、総事業費約37億円を投じ整備さ

れました。資金は運営会社である株式会社テラスタが調達されたと伺っています。本町では、官民連携の「※2第6セクターPFI」で実施していくことを決めています。

(※1) PFI…P7参照

(※2) 第6セクターPFI…三股町独自の官民連携方式

駅前の物産館について

Q 今後、三股駅前の物産館(よかもんや)はどうなるのでしょうか。

A 企画商工課長

五本松交流拠点施設との関係では、当初は交流施設内への出店を検討されましたが、協議の結果、現在の場所で営業していくことになったと聞いています。



よかもんや

牛ノ峠線の工事について

Q 国道222号線牛ノ峠バイパス区間の工事の流れは進展するのでしょうか。

A 町長

都城市・日南市、そして本町の行政機関による「国道222号牛ノ峠バイパス建設促進協議会」を設立するとともに、令和5年10月14日には決起大会を開催し、今後は早期再開に向けた地元熱意を伝える為、3市町による国、県に対する要望活動を進めていきたいと考えております。

一般質問
「そこが聞きたい!」



教育長

Q 梶山小学校の実践指定校推薦は

A 教育委員会として選定



うちむら たつよし
内村 立吉議員

教育現場での新聞活用学習(NIE)について

Q 2023年NIE実践指定校に梶山小学校が選ばれています。内容はどのようなことでしょうか。

A 教育長

各都道府県の推薦を受け、新聞協会が認定するもので、原則2年間の指定となっており、町教育委員会として梶山小学校を選定したものです。理由として令和4年から読解力の育成に取り組んでおり、実践を通して更なる取り組みの充実が期待できることから選定したものです。

Q 他の小中学校のNIEの取り組みについては、どのようになっているのでしょうか。

A 教育長

新聞を活用した学習については、全ての小中学校で取り組まれています。

各学校の工夫した取り組みを引き続き推進していき、各学校が相互に情報交換できるよう支援してまいります。

公用車の車検について

Q 自治体の公用車が車検切れの状態で走行する事案が相次いでいるということです。本町では、このようなことはないのでしょうか。

A 総務課長

総務課で管理している車両が16台、各課が所管する車両が87台、計103台であり、車検切れの状態で走行した事案はありません。

Q 公用車の車検切れの状態を防ぐための管理体制は、どのようになっているのでしょうか。

A 総務課長

事務に係る職員の役割分担による二重チェック、職員間の情報連携によって車検漏れを防ぐ管

理体制を構築しています。

第64回宮崎県畜産共進会について

Q 牛枝肉の部の内容は。

A 農業振興課長

令和5年10月24日ミヤチク高崎工場で開催され、100頭の出品がありました。前年との比較については、枝肉重量の平均528kg(前年比△5kg)、枝肉単価の平均3,230円(前年比△110円)となっています。旨味成分に関連する不飽和脂肪酸(オレイン酸等)の脂質賞として、小林市から出品された一頭が受賞しました。

2022年度台風14号の被害に伴う工事状況について

Q 福留地区の榊山用水路の工事状況及び今後の工事状況は。

A 農業振興課長

現在、新設する用水路の橋台、橋脚の基礎杭の施工を行っており、契約工期である令和6年3月19日の完成に向けて工事を進めていく予定であります。

Q 上米公園の斜面崩壊の工事状況及び今後の工事状況は。

A 都市整備課長

崩壊箇所が2箇所であり、西側の主な工事は概ね完了していますが、東側の工事は困難な箇所があるなど、厳しい状況であることから、その対策を検討しているところです。今後、国、県と協議を行い、工事の再開を目指してまいります。

工期は、令和6年3月25日となっていますので、安全管理に十分注意しながら取り組んでいきます。



なか はら み ほ
中原 美穂議員

Q 民俗芸能を保存継承していくには

一般質問
「そこが聞きたい!」



町長

A 継承していくことが重要です

三股町民俗芸能について

Q 三股町内に残る民俗芸能（郷土芸能）の保存継承についてどのように取り組んでいくのでしょうか。

A 町長

郷土芸能は、歴史の産物であるとともに、集落及び町の重要な伝統文化であることから継承していくことが重要と考え、青壮年を中心とした伝承ばかりではなく、ふるさと教育の一環として、小中学校の運動会では、児童・生徒による郷土芸能の披露が行われ、郷土に対する誇りの醸成に役立っているのではと思います。本町のまちおこし・地域おこしの重要な資源だと考えています。

Q 令和4年4月1日に文化財保護法が改正され、無形文化財と無形民俗文化財を対象とした登録制度が新設されています。本町においても独自に登録制度を設ける考えはありませんか。

A 教育課長

無形文化財と無形の民俗文化財の登録制度につきましては、令和4年に施行されましたが、宮崎県及び県内市町村において採用している自治体は現在のところ確認できておりません。今後は、県及び県内市町村の動向を注視していきたいと考えております。

くいまーるについて

Q くいまーるのバス停の名称は、なぜ地区の名称を使用しているのですか。

A 総務課長

バス停の設置及び名称の決定は、利用頻度の高

さや目印となる公共施設、病院、商業施設等の名称や地元住民が馴染みのある、分かりやすい地名、地区名が多く取り入れられているものと考えております。また、路線やバス停の設置、名称に関しましては、地区の要望等を踏まえて、随時公共交通会議にて協議し変更・見直しを行っているところであります。

Q コミュニティバス新路線の実証実験（無料運行）についての気づきなどはあったのですか。

A 総務課長

バス停の名称について、例えば「南植木」、「上植木」等の地区（地域）名で示された箇所は、土地勘のない方にはどの場所（区域）なのか、何が在るのか想像できず、利用しにくいと感じたところでした。

このことから、バス停の名称は、単に「バス停の場所を示す」ものではなく「利用しやすさ、利用目的を示す」ものに切り替えるべきと感じましたので、可能な限り公共施設、病院、商業施設等の利用頻度の高い名称をバス停の名称に取り入れていくことを検討して参ります。



くいまーる実証実験用ワゴン車



くいまーる実証実験用バス停【三股駅】

一般質問
「そこが聞きたい!」



町長

Q キャリア教育の取り組みは



いわ つ りょう
岩津 良議員

A キャリア教育支援企業を活用する

キャリア教育・地元定着促進について

Q キャリア教育の取り組みはどのようにされていますか。また、参画された企業や団体等と協力した実績についてはどのようなものがありますか。

A 町長

町の次代を担う子どもたちの地元定着促進を目的として、キャリア教育の理念に賛同する町内又は都城市内の企業を「三股町キャリア教育支援企業」に認定し、町内小中学校の授業に企業から直接派遣して頂いたり、企業の仕事現場を見学するなどし、キャリア教育の実践をしてもらうというものです。

制度が発足して、9事業者が登録し、教育現場や教育委員会などと調整を進めていきました。

しかし、コロナ禍の影響により、現在のところ、この事業での実績はございません。

今後、支援企業や教育委員会などとも協議をしながら、キャリア教育の実施に向けて準備をしていきたいと考えています。

A 教育長

教育委員会としましても、関係各課と連携しながら各学校の計画や取り組みが充実するよう努めております。

また、仕事についての調査や発表に取り組んだり、その他には米作りや民俗芸能もキャリア教育の一環として行っております。PTAにより講話や体験活動の計画をされている学校もあり、様々な活動を本年度は実績がございます。

Q 児童生徒の地元定着促進やUターン促進に向けた取り組みは。

A 教育長

キャリア発達とは「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過

程」とされています。

児童生徒が「なぜそこで生活して働くのか」といった都城・北諸圏域で働く人々の生き方についても学べるようキャリア教育の充実に努めているところであります。

A 企画商工課長

地元定着促進やUターン促進に向けた取り組みとして「都城広域移住・UIターン就職説明会」があります。

令和6年3月には、スマホやパソコンを利用したWEB就職説明会を実施することとしています。

県の取り組みとしては、大学等の在学中に貸与を受けた奨学金の要返還額の2分の1の額（上限あり）を交付する「ひなた創生のための奨学金返還支援事業」がございます。

また、町商工会では、「みまたん創業スクール」を開催し、創業しようという方を支援しています。

Q 企業や各機関等が一体となって地元企業の魅力を更に伝えていく上で「中小企業振興条例」というものがあります。制定についての見解はいかがでしょう。

A 企画商工課長

次代を担う子どもたちの地元定着の促進は、町としても喫緊の課題であり、地元企業の魅力を子どもたちや若者に伝えていくことは重要な取り組みであると考えています。

まずは、「三股町キャリア教育支援制度」の活用事例を積み重ね、関係機関の皆様と協議しながら条例制定も視野に入れて検討して参りたいと考えています。



にい さか てつ お
新坂 哲雄議員

Q 県道33号線歩道計画は

一般質問
「そこが聞きたい!」



都市整備課長

A 県知事への提言を行っている

県道33号線歩道計画について

Q 土木事務所より工事説明を受け、工事区間が約700mの予定で、令和7年度から工事との事でしたが、通学路確保のため、現在事業化していない長田峡までの残り200mの工事延長を県へ要望出来ないでしょうか。

A 都市整備課長

都城市、三股町行政懇話会において、県道33号長田地区の歩道整備について、県知事へ提言を行っているところであり、事業化していない区間も含め、県に要望を続けていきたいと考えております。長田峡までの約200mの区間の歩道整備につきましては、道路の拡幅を行う場合、本町が管理する長田峡公園の遊歩道や長田峡の景観を彩る樹木等への影響も考えられることから、当該区間の歩道整備について、どのような整備が望ましいか事業主体である都城土木事務所と協議してまいりたいと考えております。

迂回道路橋の幅拡張は

Q 工事が始まると、迂回道路としてめがね橋を使用することになりますが、大型車輛が通れるように橋の幅を拡張出来ないでしょうか。

A 都市整備課長

めがね橋については、現在5tまでの重量規制を行っているところであり、拡幅を行う場合は、架け替えまたは大規模な補強等が必要となります。多額の事業費が想定されること、将来に施設を残していく必要があること、地元から要望もないことから、現時点でめがね橋の拡幅を行う予定はありません。

有害鳥獣駆除は

Q 有害鳥獣に関して捕獲頭数90頭の制限緩和はできないでしょうか(都城市は無制限)。

A 農業振興課長

都城市は、旧北諸県4町も含め、有害鳥獣の駆除のエリアが広範囲であることや捕獲動物をイノシシのほか、シカとサルも支援対象としており、捕獲頭数も多いことから、県の事業を活用しているところです。

本事業は、年度内の捕獲頭数の進捗を見ながら、交付金の追加要望が可能ですので、三股・長田捕獲状況を確認し、申請したいと考えております。捕獲頭数90頭の制限緩和については、三股町猟友会の方々の意向や町内の鳥獣被害等を考慮し、県の事業を活用することを検討させていただきます。

樹木の落ち葉対応策は

Q 町立図書館前の樹木の落ち葉について、周辺住民より苦情があります。その対応策は。

A 教育課長

モミジバフウが大きくなり過ぎて落ち葉が多く、十分に清掃が追い付かないため、近隣住民の方の要望もありましたので、歩道まで枝が伸びている木を含め、東側2本の木について、令和5年度中に剪定をすることとしました。近隣住民の方へ落ち葉で困る状況があれば、総合文化施設に連絡をいただくように話をしました。今後も剪定や落ち葉対策を含め、樹木の管理を行ってまいります。

一般質問
「そこが聞きたい!」



教育長

Q 文化財保存調査委員を置く予定は

A 委員会の設置は必要



くす はら こう ぞう
楠原 更三議員

文化財指定への動き

Q 本町は、県内自治体で指定文化財がもっとも少ない状況です。本町が文教の町であるためには、文化の蓄積を目的にできる民俗芸能を含めた文化財を通しての環境整備が必要と思われます。そのためにはまず、文化財保存調査委員を置く必要がありますが、これまで長年にわたって置かれていません。委員を置く予定はありませんか。

A 教育長

民俗芸能に限らず、貴重な文化財については指定する動きになると思います。指定する際には、委員会の答申が必要となりますので、委員会の設置は必要と考えています。保存調査委員については、文献史料や地域の地理、方言等に詳しい方などを委員として選定したいという風に進めています。

Q 町内には指定文化財として何ら遜色ないものがないかと思っております。例えば、牛ノ峠の石柱及び一等三角点と天測点、山王原の覆輪目地のあるレンガ倉庫、仮屋の石蔵、寺柱のからねごんどんです。これらは観光資源となる十分な価値もあると思いますが、指定へ向けて検討できませんか。

A 教育課長

赤レンガの蔵、仮屋の石蔵については、保存を図るべき貴重な文化財であり、その他につきましても貴重な文化財であることには間違いありません。調査を行った上で町指定とすべきか検討してまいります。

Q これまで幾人の方が三股について研究され、書籍に残されています。今を生きる私たちがやるべきこととしては、指定文化財として後世に残すことです。町長一言お願いします。

A 町長

委員会を早く立ち上げてスピード感を持って、取り組んでほしいと伝えています。ただ、スタッフの確保に苦慮しているところです。

梶山城跡の国指定への動き

Q 梶山城跡の国指定への行程表をみると、大変な道のりとなっています。現在山積している専門性の高い文化財関連事業を少しでも早く終わらせるためには現在の人員体制でいいのでしょうか。

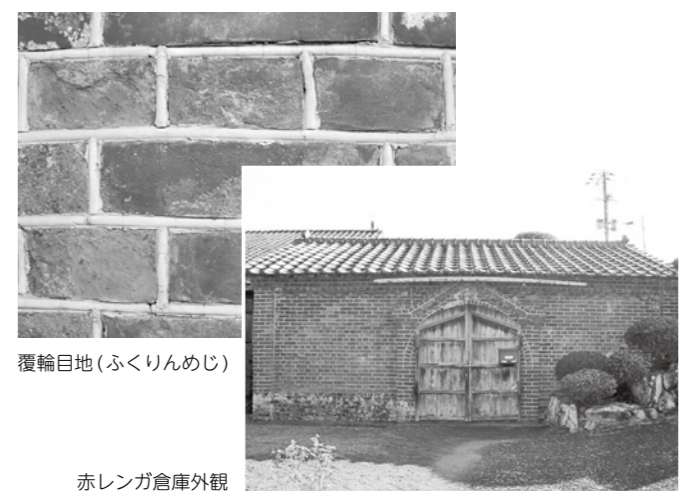
A 町長

現在の体制では難しいと思います。即戦力になるような任期付きの専門職員を採用できないか検討しているところです。

Q 町景観条例では、町民や地域に愛されている景観を多数有しているとあります。次世代に引き継いでいく景観として梶山城跡周辺の麓集落を指定できないでしょうか。

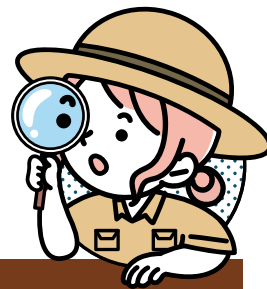
A 都市整備課長

県内はもとより全国でも事例が少ない状況です。今後研究してまいります。



覆輪目地(ふくりんめじ)

赤レンガ倉庫外観



三股よかところ再発見

三股町議会議員たちが、わが町の「よかところ」を紹介するコーナーです。

vol.3

趣(おもむき)のある石蔵!!～長田仮屋地区～



↑角が10箇所ある石



↑石蔵の外観

石蔵の説明

都城島津家領主の狩りが長田地区で行なわれていたと江戸時代に編さんされた庄内地理志にあります。

領主の狩りの際には、多くの側近が随行し、仮屋地区の松山家・間世田家などが宿舎となったと伝えられています。

(参照：三股町史改訂版)

この石蔵は間世田家のもので、周辺では往時の威厳のある名残りを今でも感じ取れる気がします。



議員の目



写真のようにこの石蔵の表面の石組みは、様々な形の石同士が互いにぴったりと組み合わさって、しっかりとした建造物となっています。さらに現在までこの形が保たれている事自体に、深い感動を覚えました。

現在のようなコンピューターや重機なども無かった時代に、これを作った石工の技術がいかに高かったのかが伺えると思います。言い過ぎかもしれませんが、かの有名なマチュピチュへ想像を至らせたところでした。

編集後記

三股町議会の令和5年を振り返ってみると、一般質問をした議員が多かったということを挙げるができます。

3月定例会11名、6月定例会11名、9月定例会9名、12月定例会10名と、議員定数12名から考えても、また、他の町村議会の状況と比較してもこれは特筆できることだと思います。当然のことながら、質問事項も多岐にわたり、町政の監視の役割をも担っていると実感できました。

今年は、一般質問の傍聴に来てみませんか。どの議員がどのような一般質問をするかについては、定例会の始まる一週間ほど前に、町のホームページの町議会の所で公開していますので確認していただきたいです。(楠原)

議会広報編集常任委員会



委員長	副委員長
上西雅子	岩津良
委員	委員
楠原更三	田中光子

